

小迫観音(宮城県栗原郡金成町)

おはさまかんのん

ここは白山神社/この先に観音堂が所在する



「三迫総鎮守 白山神社」とある



観音堂は別名「小迫観音」と呼ばれる/奥州三観音の一つで、延暦23年(804年)、征夷大將軍の坂上田村麻呂が奥州蝦夷平定の際に戦勝を祈願し、その願いがかなえられた御礼にここに観音堂を建立したと伝わる/この神社では、国指定重要無形民俗文化財に指定されている「小迫の延年」という祭事が行われているようだ

国指定重要無形民俗文化財(民俗芸能)

「小迫の延年」

遠く平安の昔、延暦二十三年(八〇四)坂上田村麻呂は奥州の蝦夷平定の際、白山神社に戦勝の祈願をなし、その帰途勝利の奉賛として境内に観音堂を建立したと伝えられる。

その後源頼朝が平泉の藤原泰衡を討つての帰途この地に立ち寄り御礼として流鏑馬の一種と思われる那須与一の扇的を射る野祭を行った。それが平泉藤原時代の延年の舞と習合して今に伝わり、小迫祭り(小迫の延年)になったと伝えられる。

■祭りは

- 1 獅子舞 (ちやれんこ舞)
- 2 御法楽 (御山開き)
- 3 入振舞 (田村舞・長刀舞)
- 4 飛作舞 (胡蝶舞・青陽舞)
- 5 馬乗渡し (的取り)
- 6 田楽舞 (花籠舞) からなり

古式豊かな平安の調べと武者絵巻が繰り広げられる。

昭和五十四年二月三日、文部省より国の重要無形民俗文化財として指定を受ける。

平成二十年五月

栗原市教育委員会

正面は山門であろうか

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)

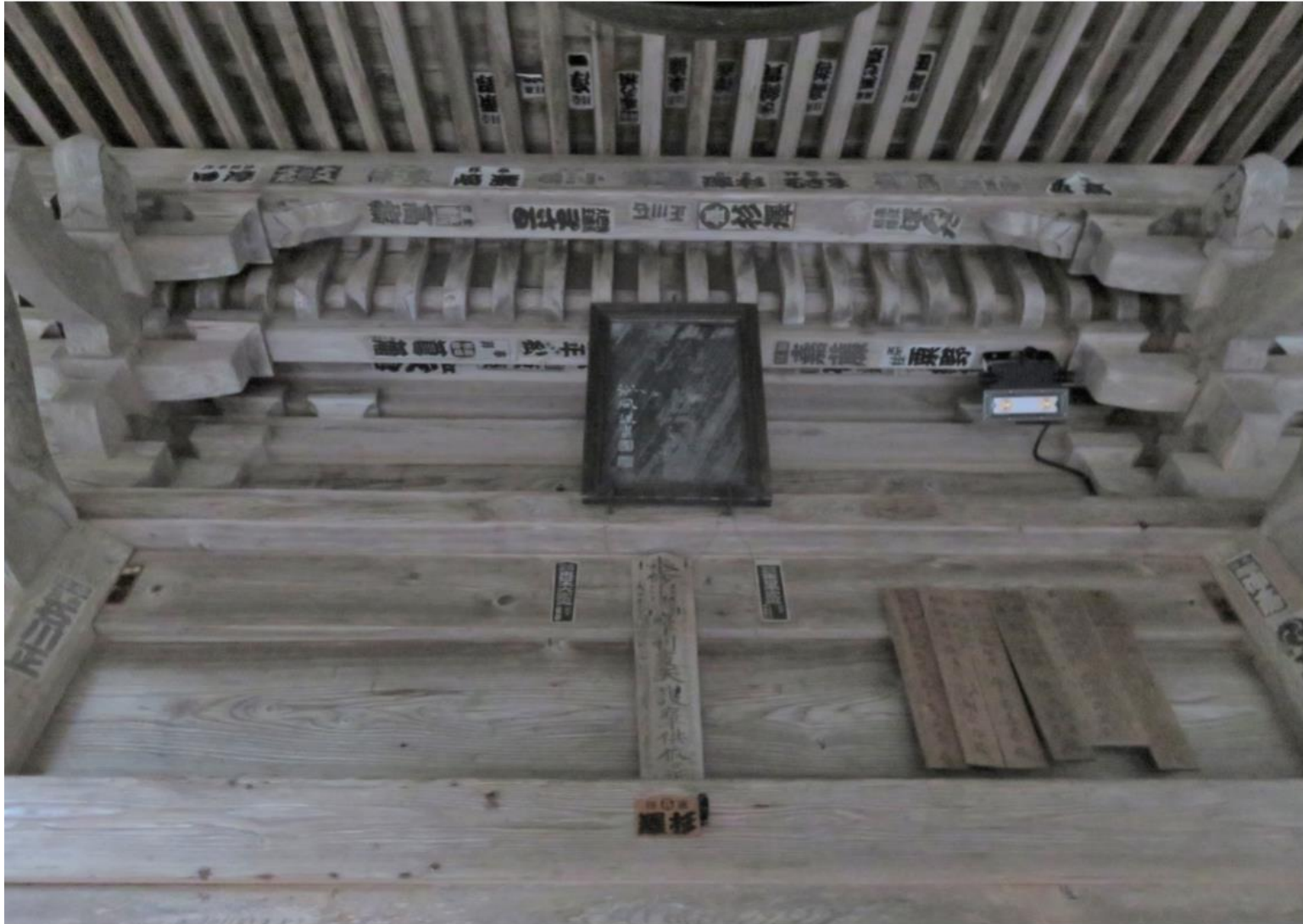


さて、山門から奥へ進むと、正面が白山神社境内にある観音堂(小迫観音)





扁額には「観世音」とある



左側面を見たところ



軒下の様子/二手先斗栱、中備は墓股、軒支輪の付く二軒





さて、こちらが白山神社



白山神社社殿/神亀元年(724年)の建立と伝えられる由緒ある神社/鎌倉幕府誕生直前には、源頼朝が奥州藤原氏を討つ際に、戦勝の祈願をしたとも伝わる



神額には「白山宮」とある



右手から見たところ



左手から見たところ/右手前が拝殿、左奥が本殿の覆屋ということであろうか



参考ホームページ

<http://www001.upp.so-net.ne.jp/densetutanbo/tamuramaro/obasama.htm>

<https://ameblo.jp/hiro-5517/entry-12376581993.html>

<http://chiyukihirosi.air-nifty.com/kanon/2015/04/post-2260.html>

<http://tenmei999.blogspot.com/2017/03/8892017325.html>

